

会場【第1音楽室】 第2学年 音楽科学習指導案	<h2 style="margin: 0;">おまつりの音楽</h2> <p style="margin: 0;">日 時：平成23年11月22日（火）第2校時 指導者：広島市立大芝小学校 教諭 吉清 麻美 児 童：第2学年2組 37名</p>
-------------------------------	--

1 題材について

【題材の目標】 ○ 楽曲の気分を感じ取って、聴いたり、生き生きと歌ったりする。 【学習指導要領】 2内容A表現(1)イ、 B鑑賞(1)ウ	【共通事項】 (1)ア(7) 強弱 音色
--	-----------------------------------

【教材】 「日本のたいこ」（津軽じょっぱり太鼓、さんさ踊りの太鼓、御陣乗太鼓、八丈太鼓） 「村まつり」（文部省唱歌）
--

【題材について】 本題材では、〔共通事項〕の中の強弱・音色に焦点を当て、楽曲の気分を感じ取って、様々な太鼓の演奏を聴いたり、歌詞の表す様子を思い浮かべながら楽曲の気分を感じ取り、表現の仕方を工夫して生き生きと歌ったりすることをねらっている。 教材として、「日本のたいこ」と「村まつり」を取り上げる。「日本のたいこ」では、青森県の「津軽じょっぱり太鼓」、岩手県の「さんさ踊りの太鼓」、石川県の「御陣乗太鼓」、東京都の「八丈太鼓」の4曲を扱う。これらはいろいろな地域の祭りの音楽であり、太鼓の音色の面白さや祭りの音楽の気分を感じ取ることができるとともに、我が国の伝統音楽のよさに触れることができる曲である。 「村まつり」は、秋の豊作を祝う祭りの楽しくにぎやかな様子が、はずむリズムにのせて生き生きと表現されており、強弱など歌い方の工夫をする学習に適していると考えられる。

【児童の実態】 本学級の児童は、音楽の時間やハーモニータイムで、拍の流れにのって言葉を唱えたり、リズム打ちをしたりする活動を楽しんできた。 4月から授業や合唱の校内発表会などを通して、楽曲にふさわしい発声の仕方を考えて歌う学習を継続的に行っている。また、友達の声をよく聴いて合わせて歌うことにも取り組んできた。その結果、自然で無理のない声で音程をそろえて歌うことのできる児童が増えてきた。 また、楽曲の気分を感じ取るために、歌詞の表す情景や気持ちを文や絵に表す活動も取り入れてきた。しかし、歌うことに精一杯で、楽曲の気分を十分に感じ取ることが難しい児童もいる。
--

【指導に当たって】 ○【共通事項】音色・強弱について <ul style="list-style-type: none"> ・ 「日本のたいこ」の鑑賞では4曲を聴き比べることで、それぞれの祭りの様子を想像しながら、いろいろな太鼓の音色の面白さや祭りの音楽の気分を感じ取ることができるようにする。「村まつり」では、範唱CDから楽曲の表す祭りの気分を感じ取ることができるようにする。太鼓や笛の音色の面白さから一人一人が感じ取った祭りの気分を、言葉の感じや歌詞の表す情景や気持ちと結び付けて、強弱の付け方を工夫することができるようにする。 ○ かかわりの場の設定について <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人が表現の工夫を相手に伝える喜びを味わい、全体の場で自信をもって発表することができるようにするために、ペアで学習する場を設定する。また、それぞれの考えを全体の場で共有し歌で表現し合うことで、互いのよさを見付けたり自分の考えを深めたりすることができるようにしたい。 ○ 言語活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲から感じ取った気分や、それを表現するための工夫を「表現カード（音楽のおたから）」としてまとめてきた。本時のねらいに迫るために、「表現カード」を活用し、言葉のもつイメージを共有できるようにする。また、自分の思いを言葉で表現することが苦手な児童への支援に活用する。

【既習事項】

- ① 時期 第2学年 10月
 ② 題材名 「にっぽんのうた みんなのうた」
 ③ 題材の目標 歌詞の表す情景を想像し、思いをもって歌う。

(全4時間)

時	教材	学習活動 (○) 学習内容 (・)	具体的評価規準 (評価方法)
第1時	「日本のたいこ」	○ 「日本のたいこ」を鑑賞する。 ・ 音色 ・ リズム	【音楽への関心・意欲・態度】 日本の太鼓の音楽を形づくっている音色やリズムを聴き取り、祭りの様子やお祝いの感じを想像し、祭りの音楽に興味・関心をもって楽曲を聴いている。 (鑑賞の様子の観察, 発言やつぶやき)
第2時	「村まつり」	○ 「村まつり」の歌詞の表す情景を想像し、歌う。 ・ 楽曲の気分 ・ リズム	【音楽への関心・意欲・態度】 日本の祭りや太鼓の音楽に興味・関心を持ち、歌唱の学習に進んで取り組んでいる。 (活動の観察, 発言やつぶやき)
第3時 (本時)		○ 「村まつり」の歌い方を工夫する。 ・ 楽曲の気分 ・ 強弱	【音楽表現の創意工夫】 歌詞の表す情景や気分を感じ取り、どのように歌うかについて自分の思いをもって、強弱を工夫している。 (活動の観察, 発言やつぶやき, ワークシート)
第4時		○ 「村まつり」の歌の発表会をする。 ・ 楽曲の気分 ・ 強弱	【音楽表現の技能】 歌詞の表す情景や気分合った表現で歌っている。 (活動の観察, 発言やつぶやき)

【これからの学習】

- ① 時期 第2学年 12月, 1月
 ② 題材名 「ようすを 音楽で」
 ③ 題材の目標 情景を想像しながら聴いたり、表現を工夫したりして楽しむ。

3 本時の目標 (3/4時間)

☆ 歌詞の表す情景や気分を感じ取り、どのように歌うかについて自分の思いをもって、強弱を工夫することができる。

4 授業の視点

- ・ ペアや全体での言語活動の場を設定し考えを交流することで、児童が自分の思いをもって表現の仕方を工夫することができていたか。

5 本時の展開 (3/4時間)

学習活動	教師の働きかけ(指示・説明・発問等) 予想される児童の姿(・)	教師の支援(○) 個への支援(※)	評価(☆) (評価方法)
1 前時をふりかえり、「村まつり」を歌う。	<p>指 前の時間には、1番から3番までの歌詞の様子や歌の気分について考えました。思い出しながら歌いましょう。</p> <p>説 これまで学習した音楽にもいろいろな強さや弱さがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夕やけこやけ」の歌では、やさしい声で弱く歌いました。 ・「旅立ちの時」の歌では、だんだん強くしました。 	○ 前時で児童が感じた、1番から3番までの「歌詞の様子」「気分」を黒板に掲示する。	
2 今日のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">おまつりの気分で、きょうじゃくを工夫して歌おう。</div>		
3 強弱の工夫を考える。	<p>指 自分が選んだ部分を、歌詞の様子や気分を思い出しながら、どのように強弱を工夫したらよいか考えて、ワークシートに書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「太鼓の音は強いから、ドンのところを強く歌おう。」 ・「ヒヤララは笛の音で小さいから、弱く歌いたいな。」 ・「人がいっぱいでにぎやかだから、大きな声で歌おう。」 ・「わくわくしているから、強く歌うよ。」 	<p>○ 1番から3番の中で気に入った歌詞のところを前時に選んでおく。</p> <p>○ 前時で学習した「かしのようす」「気分」をもとにワークシートに強弱を書き込むように言葉をかける。</p> <p>○ 歌いながら強弱を考えるように</p> <p>※ 自分の思いを言葉で表現することが難しい児童には、「表現カード」の言葉をもとに考えられるように支援する。</p>	<p>☆ 歌詞の表す情景や気分を感じ取り、どのように歌うかについて自分の思いをもって、強弱を工夫している。</p> <p>【音楽表現の創意工夫】 (活動の観察、つぶやき、ワークシート)</p>
4 ペアで歌を發表し、工夫を伝え合う。	<p>指 ペアの人にどのような工夫をしたかを伝えてから歌いましょう。聴いた人は強弱を工夫していたか、教えてあげましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「強く歌ったのがよかったよ」 ・「もう少し強く歌ったほうがいいよ。」 	○ 自分の考えと比べながら聴くように、言葉がけをする。	<p>☆ 歌詞の表す情景や気分を感じ取り、どのように歌うかについて自分の思いをもって、強弱を工夫している。</p> <p>【音楽表現の創意工夫】 (活動の観察、つぶやき、発言、ワークシート)</p>
5 工夫した歌い方を発表する。	<p>指 強弱をどのように工夫したかを発表ましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ドンドンは、太鼓だから、強く歌います。ヒヤララは笛だから少し弱く歌います。」 ・「うれしい気分だから、強く歌います。」 	○ 発表を聴くだけでなく全員で歌って確かめる。	
6 本時のまとめをする。	<p>指 今日の感想・振り返りをワークシートに書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんの強弱は、おまつりの気分になれました。」 ・「強弱を工夫するといい歌になっ 	※ 書くことが難しい児童には、祭りの気分を表すためにどのように強弱を工夫したかというのを、ワークシートをもとに振り返るよう支援する。	

言語活動・かかわりの場の設定

言語活動・かかわりの場の設定

		た。」		
	指	自分の気に入った歌い方で「村まつり」を歌いましょう。		

6 本時の評価規準

学習活動における具体の評価規準	【音楽表現の創意工夫】 歌詞の表す情景や気分を感じ取り、どのように歌うかについて自分の思いをもって、強弱を工夫している。
具体的な評価の方法	活動の様子を観察したり、つぶやきや発言から判断する。また、ワークシートも資料とする。
Aと判断する場合の例	〈Aと判断するキーワード〉 ◇ 強弱に関する発言や書き込み ・ 強弱の工夫の仕方 ・ 歌詞の様子や気分と強弱の工夫を結び付けた発言やつぶやき Aの対象となるのは、歌詞や楽曲の気分から祭りの気分や情景をしっかりと感じ取って歌い方を工夫し、さらに工夫したことを具体的な言葉でつぶやいたり、発言したりする児童である
Cと判断する児童への働きかけ	強弱を考えることが難しい児童には、教師が例を示したり、問いかけたりして児童の思いを引き出し、一緒に歌って確かめる。

7 板書計画

おまつりの音楽

めあて おまつりの気分で、きょうじゃくを工夫してうたおう。

	かしのようす	気分
1		
2		
3		

1 番の歌詞

・
・

2 番の歌詞

・
・

3 番の歌詞

・
・

まとめ (例) 強弱を工夫すると、お祭りの様子を表すことができた。